



### 軽度認知障害と在宅医療

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

今回は在宅医療と軽度認知障害についてお話し

します。最近、物忘れが進んでしまつて認知症が心配だと話される方をよく目にします。例えば以前出



**松原 清二** 医師  
在宅療養支援診療所 まつばらホームクリニック 院長  
総合内科専門医・循環器内科医  
・日本循環器学会専門医  
・日本内科学会認定医  
・認知症専門医  
・認知症サポート医

来ていたパソコンの扱い方が分からなくなった、いつも置いてある場所に物を置いてなくて探すことが多くなった、友人や家族と話をしていると言葉がなかなか出てこない……などなど。

ただ、年齢を経れば皆なそういつたことはよく経験します。

では、認知症とは何ですか？ よく知られていないのは、新しいことが覚えられない、さつき話したことを忘れてしまつたこと、例えば以前出

てきたパソコンの扱い方が分からなくなった、いつも置いてある場所に物を置いてなくて探すことが多くなった、友人や家族と話をしていると言葉がなかなか出てこない……などなど。

害、他に今まで出来ていない。在宅患者さんでも、他の人は認知機能訓練に前向きになり、着々と訓練の点数を伸ばし、ついには獲得した高得点も自慢されるようになり、日頃の自信も取り戻すようになってきました。

対して、ご本人やご本人を知る人から記憶障害の自覚あるいは指摘はあ

るものの、日常生活には支障はきたしていない認知症の前段階の状態を軽度認知障害といひます。

軽度認知障害は、15%程度は認知症に移行するといわれていますが、興味深いことに40%は改善するといわれています。

【まつばらホームクリニック】  
☎ 042-439-1250  
西東京市東町 4-14-18-2F  
(訪問中のため不在が多い)  
■電話対応：午前 9:00～午後 6:00  
■定休日：土日（祝日は診療）  
■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部  
↑ 診療相談はこちらから

まつばらホームクリニック 検索